

2022 年度 0 時間目の記録

2022 年 5 月 16 日(月)~5 月 22 日(日)

栽培中の植物*

- ジニア
- ハツカダイコン
- コリウス
- センニチコウ
- 四つ葉のクローバー(後から種子をもらった)
- ズッキーニ
- シソ
- マリーゴールド
- バジル
- コスモス
- セントーレア(宿根ヤグルマギク)
- キュウリ
- トマト
- カボチャ
- トウガラシ
- レタス
- ナス

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
5/16(月) 8:10	晴れ	気温(19℃)	【管理・植物の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ● トマト、サンチュ、ピーマン、ナス、ペチュニア、サルビア、ナス、タチウム、サルビア、マリーゴールド、シロタエギク、コリウス、ジニア、カンナ、コリウスに灌水 ● オンシツコナジラミ、ハダニ、アブラムシ捕殺 ● キュウリの一部にうどんこ病、ロハピ散布 葉にうどんこ病以外の白い斑点→何か病気か?(写真①) ● キュウリ、ピーマン、ナス、トマト、シシトウを畑へ移動。支柱を立て、誘引を行った ● 畑のキュウリにもうどんこ病あり、ロハピ散布 ● トマトの芽かき 【指導内容】 ヒモトウガラシ、ピーマンの葉の新芽の部分の葉がちぢれたようになっている(アブラムシが吸った後)。アブラムシの早期発見で予防することが必要。(写真②)
		最高(24℃)	
		最低(13℃)	
5/17(火) 8:15	くもり	気温(17℃)	【管理・植物の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ● 1日中くもりの予想なので、土が乾いているフラワートレイに灌水 【指導内容】
		最高(24℃)	
		最低(14℃)	
5/18(水) 8:10	晴れ	気温(22℃)	【管理・植物の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内のジニアの苗にアブラムシ、温室コナジラミも少しとんでいる ● トマト、ナスの苗に温室コナジラミが発生しているので温室
		最高(26℃)	
		最低(13℃)	

2022 年度 0 時間目の記録

			<p>の外に出し鉢に植えた。ロハピ(農薬)を散布</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分区園のトマトに麻ひもで5か所誘引をした。すべての苗に灌水 <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 剣持持先生からコリウスの平鉢からのポット上げの指導。スプーンや割りばしの背の平たい部分を使い用土を大きく取りなるべく根にストレスを与えないようにポットの穴に優しく入れて軽く土寄せする。根本をできるだけ押さえない。灌水をして土を落ち着かせる
5/19(木) 8:20	晴れ	<p>気温(24℃)</p> <p>最高(30℃)</p> <p>最低(13℃)</p>	<p>【管理・植物の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室ポットの土が乾いていたのでポット苗に全て灌水、気温が高くなり、苗も大きくなったので、水分の蒸散が盛んになった ● 外に出して鉢に植えたトマト、ナスの温室コナジラミは見られない <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上地先生から四つ葉のクローバーの平鉢からのポット上げの指導。鉢の側面を少し叩き、土を寄せる。あいたスペースの側にスプーン寄せるようにして苗をすくい取る。あけた穴に静かに入れて軽く根元を鎮圧して、灌水(写真③)
5/20(金) 8:20	くもり	<p>気温(21℃)</p> <p>最高(26℃)</p> <p>最低(17℃)</p>	<p>【管理・植物の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温室内は灌水なし ● 分区園灌水なし。トマトの芽かき。分区園の野菜の誘引、キュウリの苗が一本枯れていた。根がうまく育っていない様子。水分の吸収に障害がでた。肥料やけかもしれない(写真④) <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 豊田先生からの指導 <p><質問>お昼ごろに温室の苗が萎れているが灌水をどうしたら良いか</p> <p><回答>根からの水の吸収より葉からの蒸散の方が多いため葉がしおれる。気温が生育適温を超えると蒸散が盛んになる。ポットの土が乾いているなら、灌水しても良い。十分に湿っているなら、寒冷紗をかけ日陰を作る。天窗、横の窓を開け風通を良くする。通路に打ち水をして気温を下げることも有効</p> <ul style="list-style-type: none"> ● トマト、キュウリは畑に植えるときは、根鉢の肩が1cm程度見えるように浅植えが基本。キュウリを深いプランターに植え

2022 年度 0 時間目の記録

			<p>るときは、下にゴロ土を入れ水はけ良くすること。トマトは乾燥気味に管理し、キュウリ、ナスは水が好きなのでたっぷりと灌水する。キュウリとナスの違いは、キュウリの場合は十分乾いてからたっぷり与えるが、ナスの場合は少し乾き始めたら十分与えるようになる(葉のしおれ具合で判断してもよい)(補足)キュウリの根は、土中の浅い所に水平に伸びる性質がある。一方で、果実の肥大にはナス同様に水分が重要。つまり、通気性がよく、かつ、保水性がよい土を好む。腐葉土や牛糞といった有機物を十分に含み、団粒構造をしている土(掌で握ると塊になるが、指で押すと崩れる程度の固さの土)が好ましい。このような土は、キュウリに限ったことではなく、どの野菜にも基本的には好ましい。分区園の場合、水はけが悪い所があったが、そうした場所では、有機物やパーライトのような通気・排水を促す用土を入れることも改善策の一つ</p>
5/21(土) 7:50	雨のちくもり	気温(18℃)	【管理・植物の様子】
		最高(26℃)	● 温室赤シソ、青シソ、サンチュ、マリーゴールド一部に灌水
		最低(17℃)	● 分区園灌水なし。分区園は基本灌水なしだが、土が乾いて萎れてしまっているときは、灌水する
5/22(日) 8:50	晴れ	気温(23℃)	【管理・植物の様子】
		最高(27℃)	● 温室内のポット苗に全て灌水
		最低(14℃)	● 分区園の様子 <p>キュウリの苗が植えた時の2倍近くになっていた。キュウリの花がたくさん付いてきた(写真⑤)。ミニトマトの実が付いている株が何本かある。キュウリの小さい実もついてきた。カボチャ、ズッキーニの花も咲いてきた</p> <p>キュウリの下のはうどんこ病が発生していたので、除去した(写真⑥)</p>

2022 年度 0 時間目の記録

(写真)



写真① キュウリの葉に白い斑点がある



写真② アブラムシが吸った後の葉の状態



写真③ 四葉のクローバーの植え替え



写真④ 枯れたキュウリの苗



写真⑤ キュウリの花 (花弁の下に果実になる子房が見えないので雄花と思われる)



写真⑥ キュウリの葉のうどん粉病 (うどん粉病の胞子は地中にいて、雨天の泥はねなどで葉に付着するため、下葉から感染する) 面